



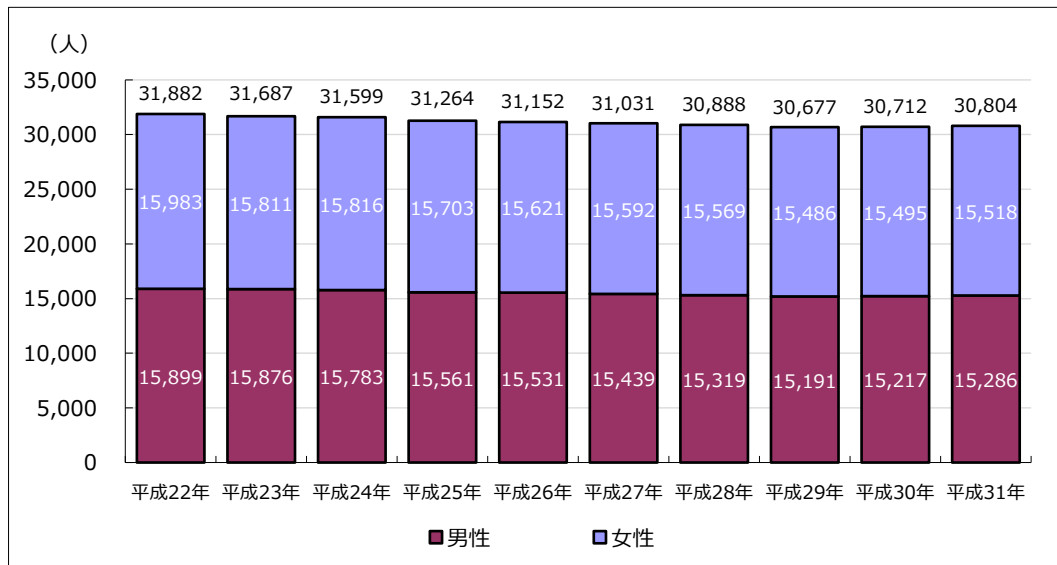
第2章 中央市の概況

1. 人口等の推移

(1) 人口

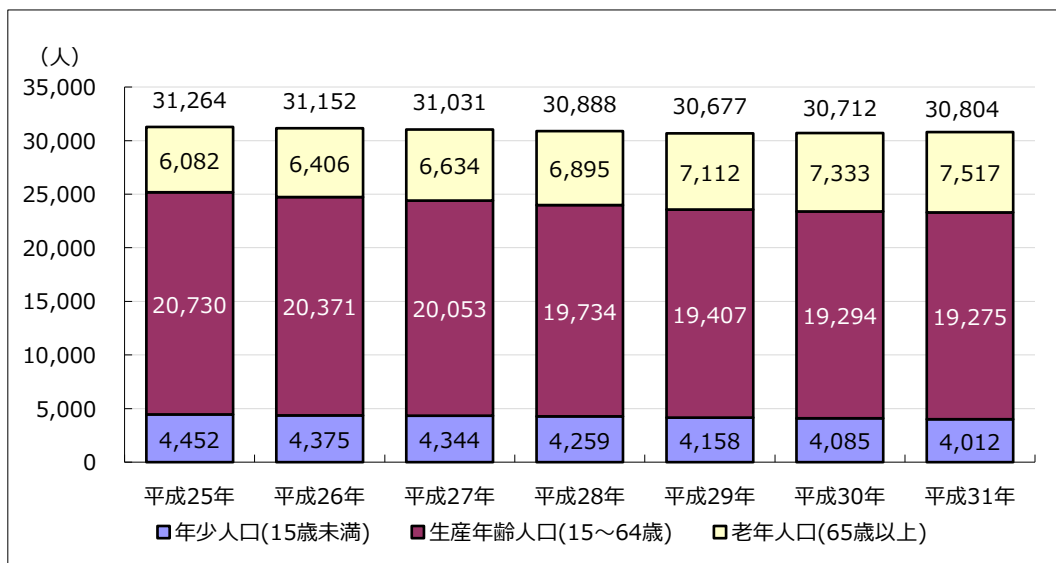
本市の人口は、男性、女性ともにほぼ横ばいの状態にありますが、直近の2年はわずかに増加傾向となっています。年齢3区分人口では、老年人口が増加し、生産年齢人口と年少人口が減少しています。

男女別人口の推移



出典：住民基本台帳人口（各年3月31日現在）

年齢3区分人口の推移



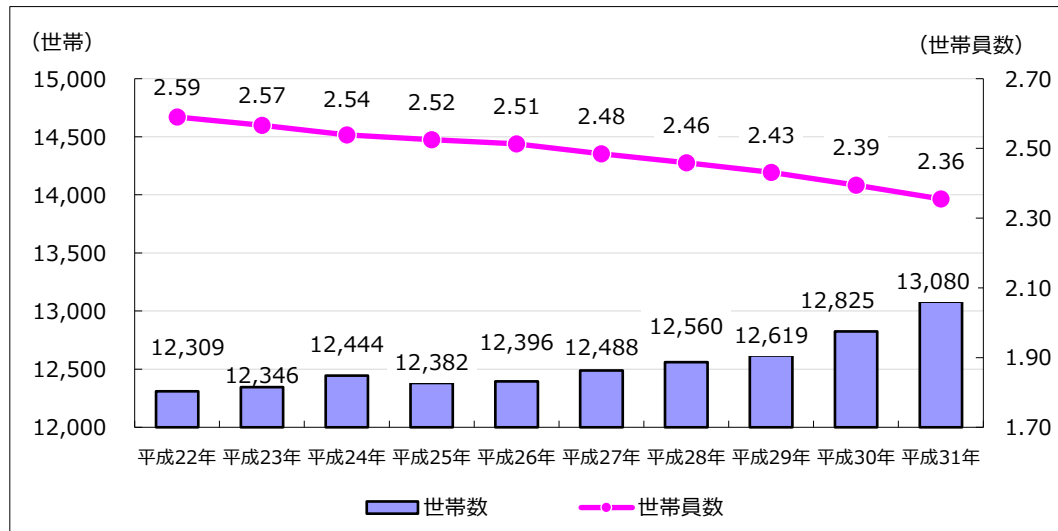
出典：住民基本台帳人口（各年3月31日現在）



(2) 世帯数

世帯数は増加傾向にあり、平成 22 年の 12,309 世帯から、平成 31 年には 13,080 世帯と 771 世帯増加しています。一方、一世帯あたりの人数は減少傾向にあり、平成 22 年の 2.59 人から、平成 31 年には 2.36 人となっています。

世帯数と一世帯あたり世帯員数の推移

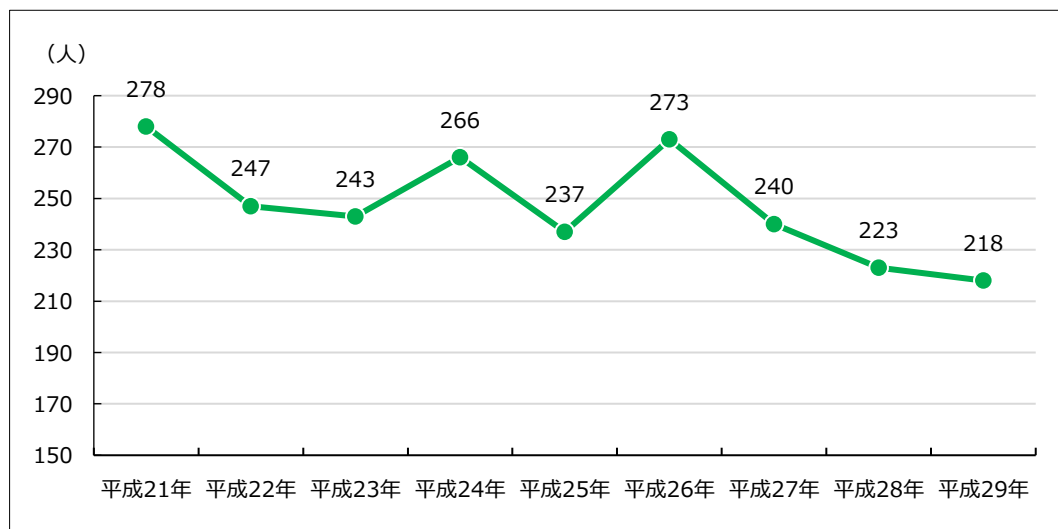


出典：住民基本台帳世帯数（各年 3 月 31 日現在）

(3) 出生数

出生数は、増加している年もありますが、平成 21 年以降、緩やかに減少傾向となっています。平成 21 年では 278 人でしたが、平成 29 年には 218 人と 60 人減少しています。

出生数の推移



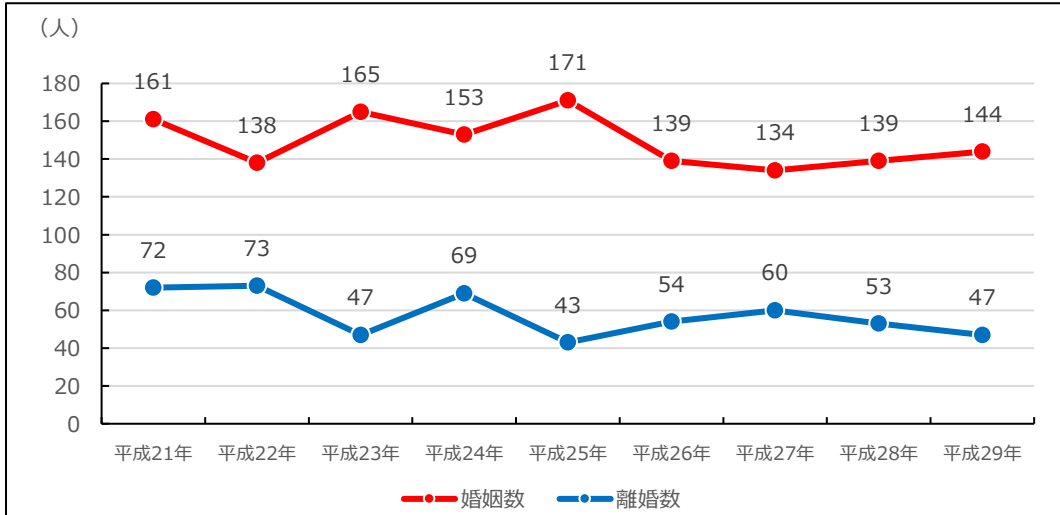
出典：人口動態統計



(4) 結婚・離婚

婚姻件数は、平成 25 年の 171 件をピークに減少し、その後横ばいで推移しています。一方、離婚件数は平成 22 年の 73 件をピークに減少傾向にあります。

婚姻数と離婚数の推移

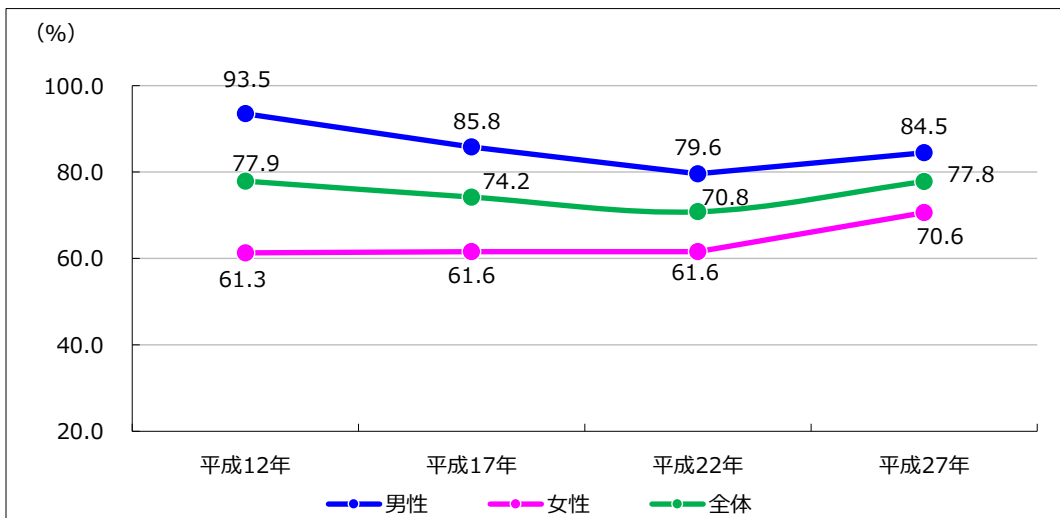


出典：人口動態統計

(5) 就業率²

就業率は、平成 12 年以降平成 22 年まで、男性は低下傾向、女性は横ばいとなっていました。平成 27 年では、男性・女性とも上昇しています。

男女別就業率の推移



出典：国勢調査

² 就業率 = 25 歳～44 歳の就業者数 / 25 歳～44 歳の人口 × 100

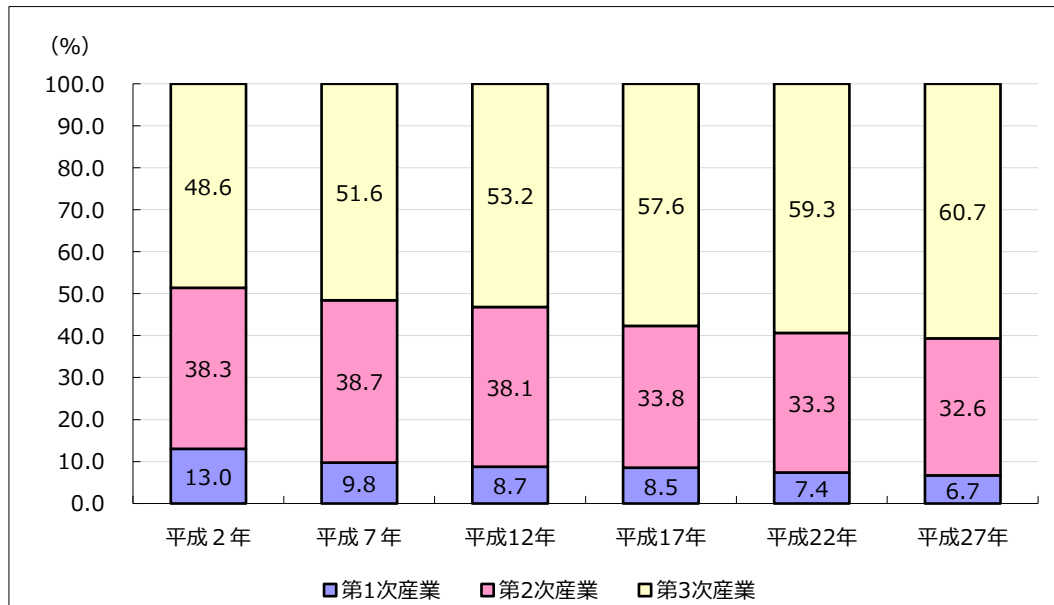
※国による「子育て安心プラン」における女性の就業率に準じ、25 歳～44 歳の人口及び就業者数により算出。



(6) 産業別就業者

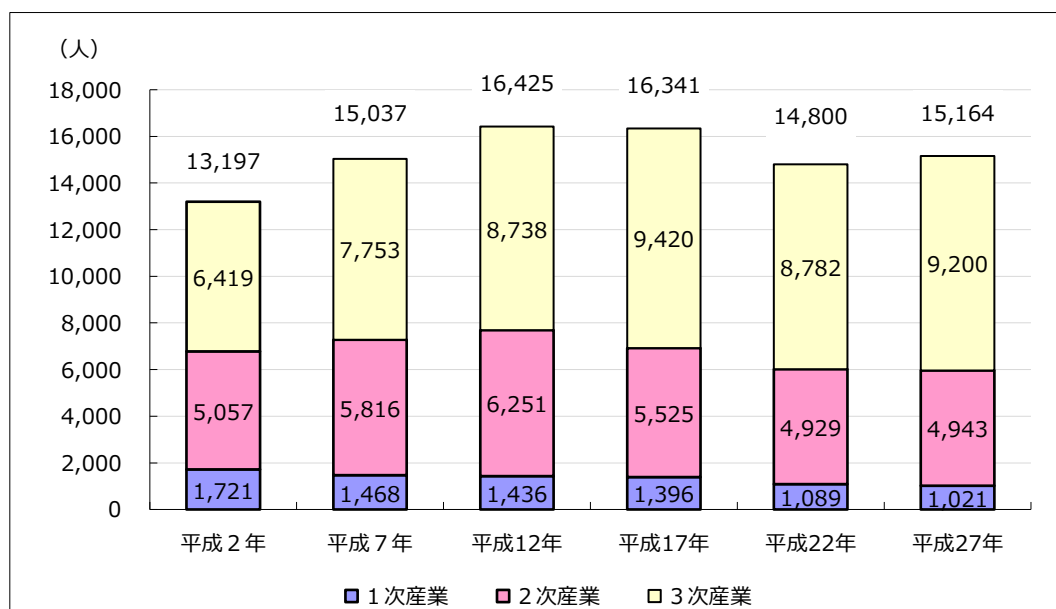
本市の産業別の就業者構成比をみると、第1次産業³及び第2次産業⁴の減少と第3次産業⁵の増加が顕著に見られます。

産業別就業者構成比の推移



出典：国勢調査

産業別就業者数の推移



出典：国勢調査

³ 農業、林業、漁業（水産業）

⁴ 鉱業・採石業・砂利採取業、製造業、建設業

⁵ 電気・ガス・水道、運輸、通信、小売、卸売、飲食、金融、保険、不動産、その他のサービス業、公務



2. 教育・保育施設の状況

(1) 市内の教育・保育施設

本市には6か所の公立保育園、3か所の私立認定こども園、3か所の小規模保育事業所があります。

(公立園)

令和2年4月1日現在

施設名	玉穂保育園	田富第一保育園	田富第二保育園	田富第三保育園	田富北保育園	豊富保育園
住所	成島 2387番地2	布施 3015番地	西花輪 2002番地	東花輪 1173番地	山之神 22番地59	大鳥居 3790番地
開所時間	7:30~19:00	7:30~19:00	7:30~19:00	7:30~19:00	7:30~19:00	7:30~19:00
乳幼児保育	有	有	有	有	無	有

(私立園)

令和2年4月1日現在

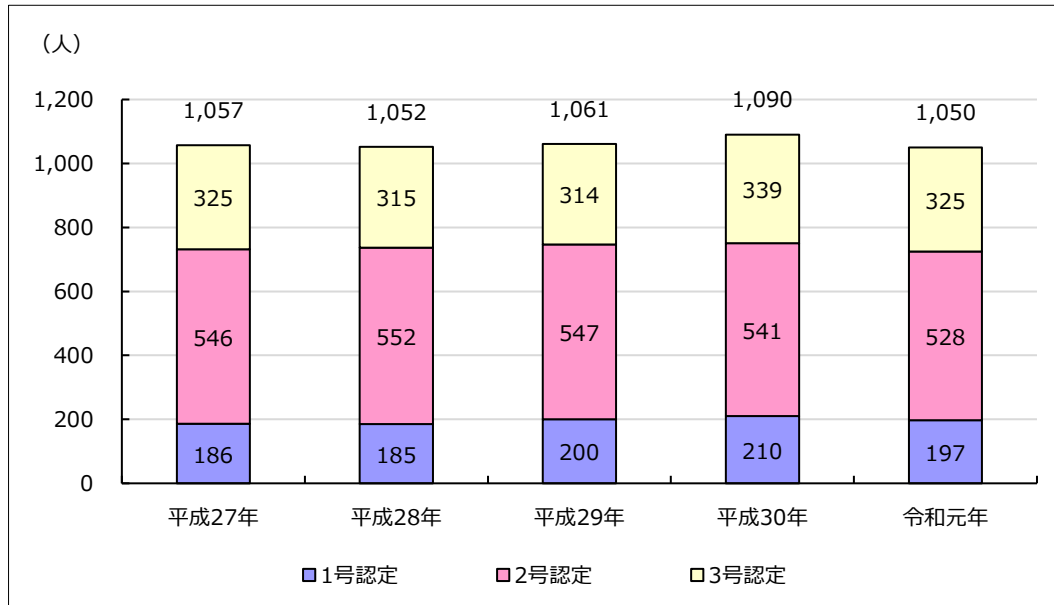
設置主体	(学)中澤学園	(学)井口学園	(福)成島	(株)子ども企画	(一社) 多文化リソース センターやまなし	(株)子ども企画
施設名	みかさこども園	わかば幼稚園	まみい・キッズ こども園	ゆりかご愛児園	みんなのいばしょ	西はなわ保育園
事業種別	認定こども園	認定こども園	認定こども園	地域型保育事業	地域型保育事業	地域型保育事業
事業類型	幼保連携型	幼保連携型	幼保連携型	小規模保育事業 A型	小規模保育事業 C型	小規模保育事業 A型
住所	臼井阿原 813番地6	井之口 937番地2	成島 1072番地1	若宮 12番地9	東花輪 1844番地2	西花輪 452番地2
開所時間	7:30~19:00	7:30~19:00	7:30~19:00	7:30~19:00	6:30~19:30	7:30~19:00
乳幼児保育	有	有	有	有	有	有

(2) 教育・保育施設の利用状況

教育・保育施設及び小規模保育事業所の利用状況は、平成29年、平成30年と増加しましたが、令和元年は減少に転じています。

1号認定、2号認定、3号認定の比率には大きな変化はありません。

教育・保育施設の利用人数の推移



提供：中央市子育て支援課（各年10月1日現在）



3. 児童館・放課後児童クラブの状況

(1) 市内の児童館

市内には9か所の児童館があり、地区ごとの内訳は、玉穂地区3か所、田富地区5か所、豊富地区1か所となっています。

令和2年4月1日現在

施設名	玉穂中央児童館	玉穂北部児童館	玉穂西部児童館	田富中央児童館	田富わんぱく児童館
住所	成島 3512-2	井之口 1139-1	下三條 133	布施 2382	東花輪 1351-1

施設名	田富ひばり児童館	田富杉の子児童館	田富すみれ児童館	豊富児童館
住所	山之神 1156-119	西花輪 1415-3	布施 242-3	大鳥居 3770

(2) 市内の放課後児童クラブ

市内には、小学1年生から6年生を対象とした放課後児童クラブが8か所あります。公立では玉穂地区3か所、田富地区3か所、豊富地区1か所あり、主に市立児童館を活用して実施しています。私立では、田富地区に社会福祉法人ひとふさの葡萄が運営している「またあした」があります。

令和2年4月1日現在

施設名	玉穂中央児童館 放課後児童クラブ	玉穂北部児童館 放課後児童クラブ	玉穂西部児童館 放課後児童クラブ	田富中央児童館 放課後児童クラブ
住所	成島 3512-2	井之口 1139-1	下三條 133	布施 2382

施設名	田富杉の子児童館 放課後児童クラブ	田富すみれ児童館 放課後児童クラブ	豊富児童館 放課後児童クラブ	社会福祉法人ひとふさの葡萄 またあした
住所	西花輪 1415-3	布施 242-3	大鳥居 3770	臼井阿原 1658-4



4. 子育てサークルなどの状況

本市には1つの子育てサークルと2つのボランティア団体があり、それぞれ就園前の親子に向け、仲間づくりや体操などの各種教室、季節の行事、読み聞かせなどを行っています。

団体名	活動日時	活動場所	対象	活動内容	備考
にこにこKIDS	毎週 金曜日	玉穂北部 児童館	就園前の子ども とその保護者	・お話し会 ・自由遊び ・季節の行事	子育てサークル
おんぶコアラ	随時	玉穂 総合会館	子育て中の親と その子ども	・「みらいサポート・ちゅうおう」の講習会における託児 ・親子を対象にした遊びの広場開催(中央市民の集い)	ボランティア団体
地域つながり お茶会 ちびチュウ	毎月定期 (月5~7回) 又は随時	長栄寺他	子育てに関わっ ている人	・季節のイベント ・子どもの健やかな成長を促す遊び ・ママのリフレッシュ活動 ・ワークショップ等	ボランティア団体



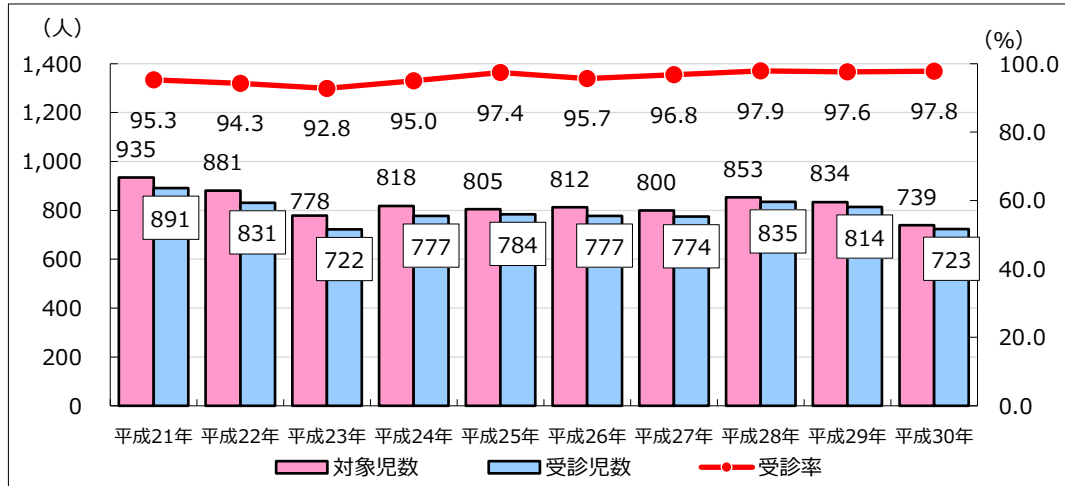


5. 母子保健の状況

(1) 乳児健康診査

本市の乳児健康診査の対象児数は、平成 21 年の 935 人から減少傾向にあり、平成 30 年の対象児数は 739 人と過去 10 年で最少となっています。受診率については上昇傾向にあり、近年は約 98%で推移しています。

乳児健康診査受診率の推移

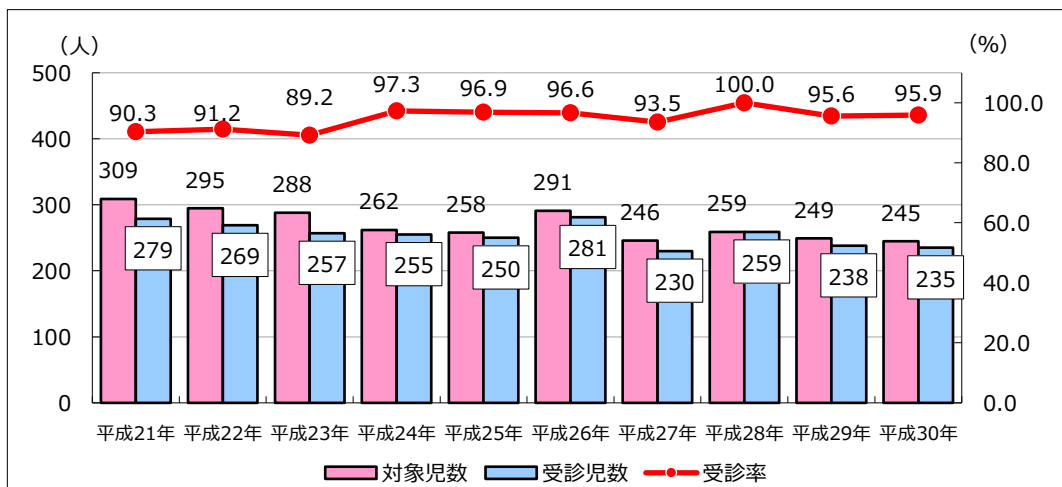


提供：中央市健康推進課

(2) 1歳6か月児健康診査・1歳6か月児歯科検診

対象児数は、平成 21 年の 309 人から減少傾向にあり、平成 30 年は 245 人と過去 10 年で最少となっています。受診率は平成 28 年に 100%となりましたが、直近は約 96%となっています。

1歳6か月児健康診査・歯科検診受診率の推移



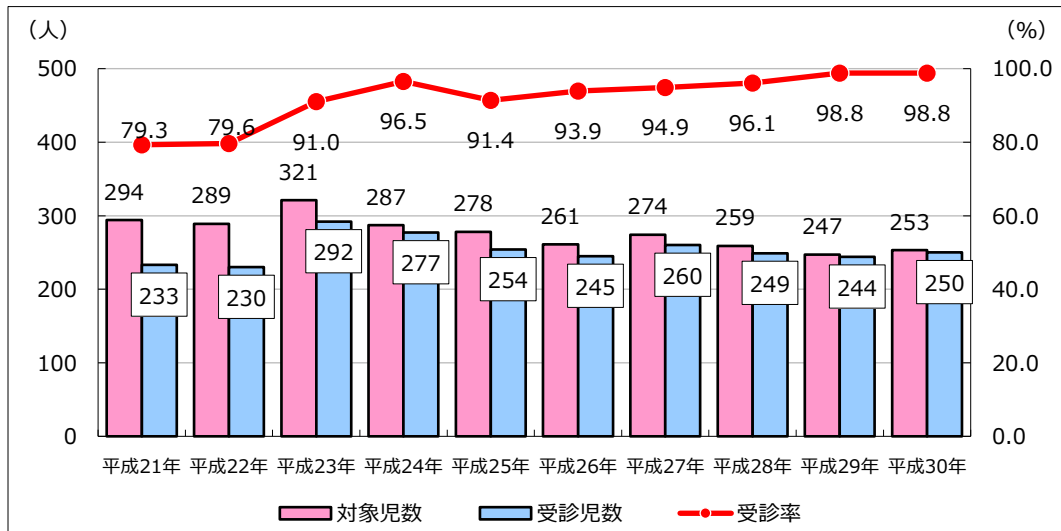
提供：中央市健康推進課



(3) 3歳児健康診査・3歳児歯科検診

対象児数は、平成23年の321人をピークに減少傾向にあり、直近の2年では約250人となっています。受診率については、平成26年以降上昇し、直近2年では約99%となっています。

3歳児健康診査・歯科検診受診率の推移

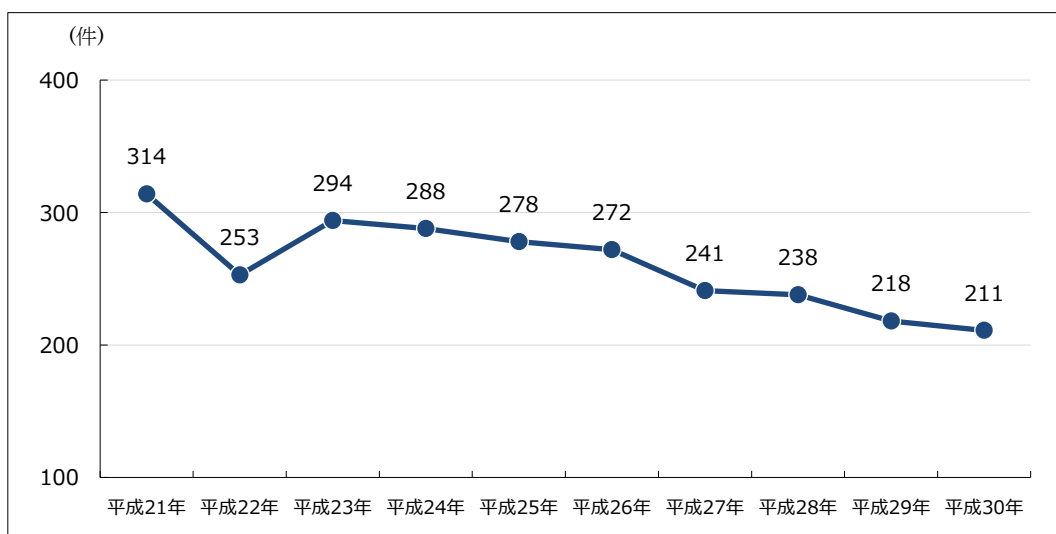


提供：中央市健康推進課

(4) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳の交付件数は、出生数の低下にともない、平成21年の314件から減少傾向にあり、平成30年の交付件数は211件と過去10年で最少となっています。

母子健康手帳の交付件数の推移



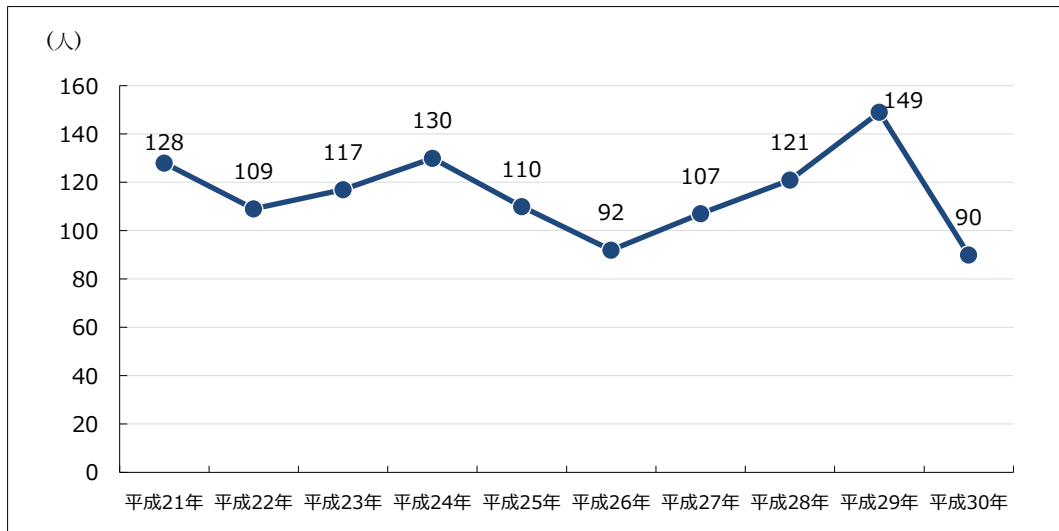
提供：中央市健康推進課



(5) 母親学級の参加人数

母親学級の参加人数は平成 27 年以降増加傾向にありましたが、平成 30 年に一転して減少し、過去 10 年で最少の 90 人となっています。

母親学級の参加人数の推移



提供：中央市健康推進課





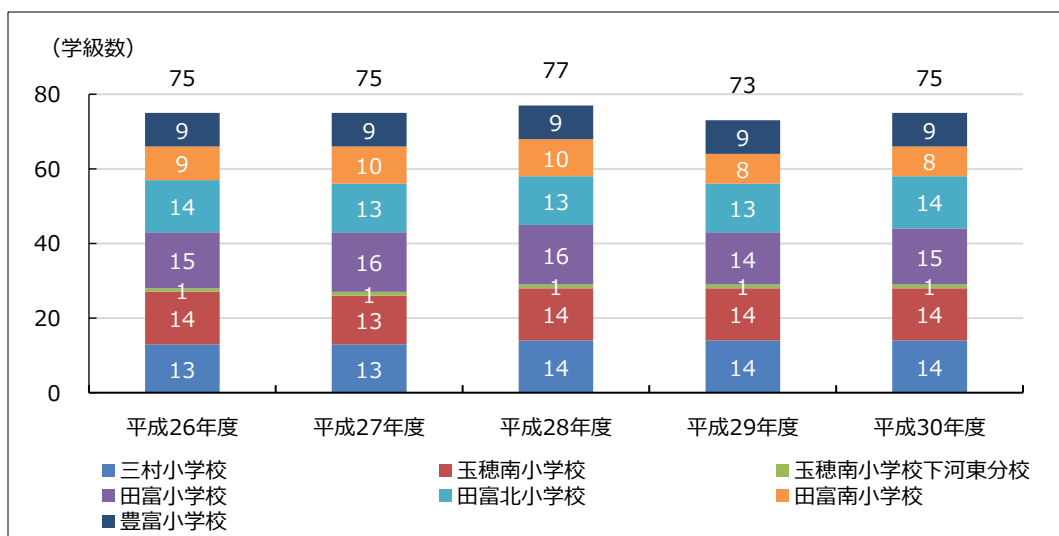
6. 就学の状況

(1) 小学校の状況

本市に小学校は、山梨大学医学部附属病院内に併設されている玉穂南小学校下河東分校を含めて7校あります。各小学校の学級数は、子どもの数に応じて年度ごとに増減があります。

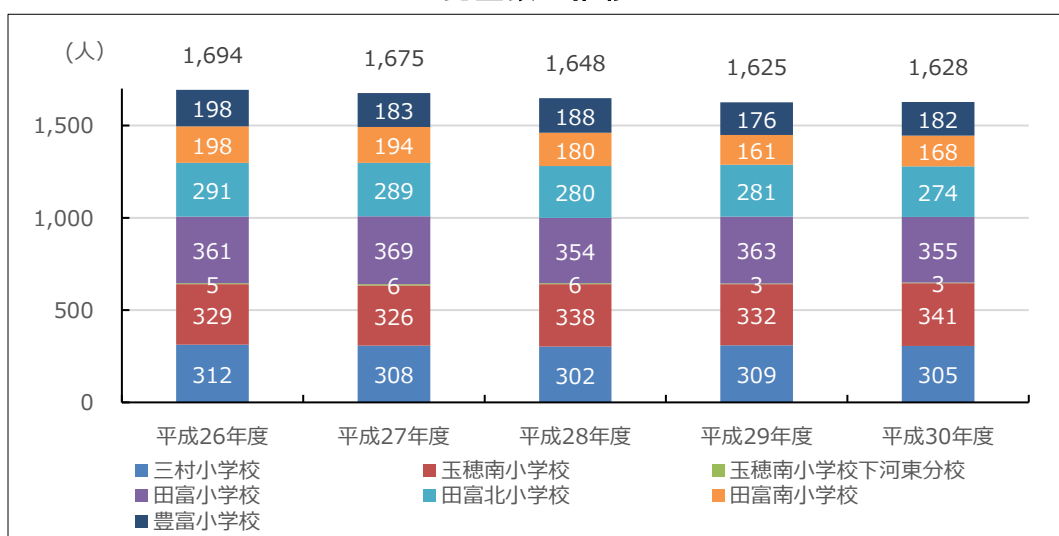
全体的には児童数は減少傾向にあり、平成26年度は1,694人でしたが、平成30年度には、1,628人となっており、66人減少しています。

学級数の推移



提供：中央市教育委員会教育総務課

児童数の推移



提供：中央市教育委員会教育総務課



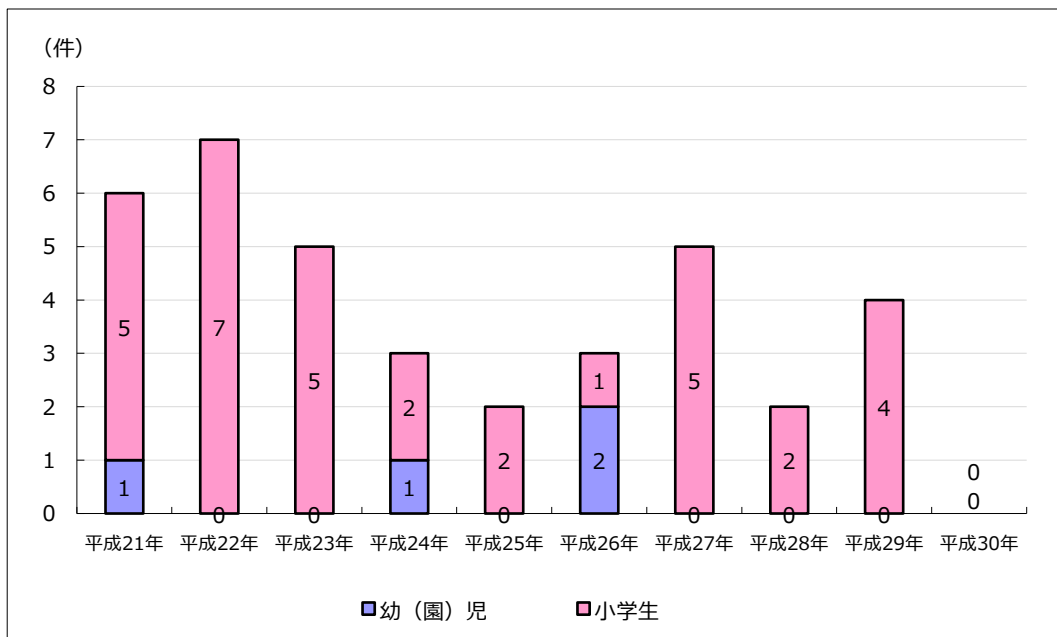
7. 安全の状況

(1) 子どもの交通事故発生件数

本市の幼児・園児の交通事故件数は、1～2件発生している年もありますが、直近4年では0件となっています。

一方、小学生については平成29年まで毎年数件発生していましたが、平成30年は0件となっています。

子どもの交通事故発生件数の推移



出典：警察庁交通年鑑

